

垂水を 5 時 50 分、長田を經由して新神戸を 6 時 50 分のスタート、参加者は 40 名、8 時 30 分に比良イン谷口に到着（バスの運転手はいつもの清原さん）

第 2856 回例会・単独例会 2014.5.18（近江 100 山）
シャクナゲ咲く比良の名山「堂満岳（1,057m）へ」



山頂からは昨年 4 月 14 日訪れた沖島、一昨年の 7 月 29 日に訪ねた伊吹山が見える。



堂満岳は琵琶湖に最もせり出しており水瓶に湛えた湖水も最も深いところで水深 100mを超える



イン谷出合から別荘地を抜けると杉林から新緑のブナ林へと登りが続き、下見の 5 月 2 日に満開であったシャクナゲも遅いかとの会長のお話に不安がよぎるも・・・



山頂は狭く手前の鞍部で昼食をとり記念撮影、頂上に近づくにつれて美しいシャクナゲが迎えてくれた



金萁峠からガレ場を下ってイン谷口まで下山（3 時）、天然温泉比良とびあで汗を流して 4 時に帰路へ（美味しいビールをいただいて明るい内に神戸へ）

花もシャクナゲと共につつじ、シロヤシオ(白つつじ)やイワカガミ、オオイワカガミなどを愛でながらの登行、天候にも恵まれ、湖面に映える景色を見ながら最高の一日であった。



1 時に金萁峠から沖島を正面に見ながら下山

